



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年6月16日

我孫子市小中一貫教育だより

第290号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-ふるさとの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-ふるさと「ふさカリキュラム」



6月9日に布佐中学校で3学年同時間展開のふさカリキュラムが行われました。

1年生は布佐の語り部を招いての学習をしました。屋台方式で6人の語り部さんのお話を聞きました。「観音堂はなぜ建っている?」「岡田博士の人間像」「布佐の洪水」「栄橋の歴史を探れ!」「布佐文庫とはなにか?」「竹内神社にある英文石碑のなぞを解け!」と、自分が生活している布佐の町について、詳しく知ることができました。

2年生はフィールドワークで学んだ「洪水被害」「布佐文庫」「英文石碑」についてまとめました。不足している情報はインターネットで調べます。まとめたものはグループで共有し、ホワイトボードに書いて全体でも共有しました。

3年生は、1・2年生で学習したことから、「布佐のまちを発展させる方法」について提言書を作成しました。最初はグループでアイデアを出し合い、その中から、グループで1つ提言をまとめて出しました。「布佐を気象学のまちにする」「古民家カフェをつくる」など、学習したことを活かしながら中学生らしいアイデアが教室の中で溢れていました。



#### Abi-ふるさと「ふさカリキュラム」

6月13日に布佐南小学校の第3学年で、「ふさの町はどのように発展していったのだろうか」をテーマに学習しました。毎時間、学習したことを川柳にまとめ、発表します。

まず、前時の復習です。銚子で水揚げされた魚や材木が利根川の水運を利用して高瀬舟で運ばれていたこと、材木を陸揚げした地点が現在の木下であり、魚は布佐で陸揚げされていたことなどを川柳で再確認しました。(例)「魚はこぶ 馬車と船で 5日間」

続いてワークシートを使って学習しました。黒板に貼られた先生お手製の「布佐の地図」を見ながら、陸揚げされた魚を馬で江戸に運ぶための鮮魚(なま)街道とそれにまつわる話を聞き、ワークシートを完成させていきました。特に、学校前の公園に馬を祀った馬頭観音があることを写真で確認したときなど、子ども達は意欲的で、先生の問いかけに我先にと答えている様子が印象的でした。

まとめとして、本時に学んだことを川柳で表現しました。子ども達は積極的に取り組み、あっという間に作り上げて先生に見せ、評価をもらいながら黒板の用紙に貼っていきました。

(例)「ほかけ船 布佐でおりれば 江戸ちかい」

最後に全員が前に出て、川柳の発表をして授業は終わりました。1時間を通して子ども達は興味関心を強く持ち、意欲的かつ積極的に授業に参加できており、この後のフィールドワーク、そしてこれから中3まで続く「ふさカリキュラム」に大きな期待を抱くことができた授業でした。

